

内陸の大動脈がもたらす 産業・防災拠点の新たなフロンティア



before >>>

新東名高速道路開通前(H18)

after

新東名高速道路開通後(H24)

● before: S36~H18整備
★ after: H18~H26 整備(計画を含む)



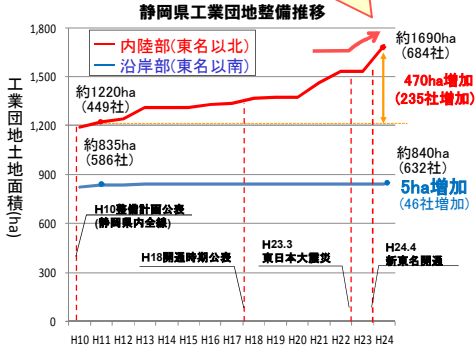
- 新東名高速道路の開通時期が平成18年に公表されて以降、津波の被害がなく地盤が強固な内陸部の開発が加速
- 静岡県においては、「内陸のフロンティアを拓く取組」を推進
- 新東名高速道路を軸とした、防災・減災と地域成長の両立を図るまちづくりを推進

▲ : 南海トラフ巨大地震(レベル2の地震)の最大津波高

出典: 静岡県資料を元に作成

内陸部へ工業団地開発が拡大

内陸部の開発が加速



出典: 静岡県資料を元に作成

内陸部・高台部のイノベーション

【内陸部への企業進出事例】

<浜松市北区: スズキ(株): 雇用人数2,200人※2>

「東日本大震災の発生を受け、津波被害が予想される静岡県磐田市竜洋地区拠点の移転のために浜松市北部の都田(みやこだ)地区に用地を確保。災害に対する対応力を高めてまいります。」※1



写真: 浜松市提供



出典: ※1スズキ(株)資料
 ※2静岡新聞

沿岸・都市部のリノベーション

【内陸部への企業移転後の跡地利用例】

内陸部に移転した企業跡地の農地化を推進する等、沿岸・都市部のリノベーションを推進



静岡県農地イメージ写真
 静岡県提供

ストロウ効果